

【活動報告/資料】

研究集会参加報告

情報基盤センター

1. 研究集会の概要

- 会議名 : 第7回国立大学法人情報系センター研究集会及び第16回学術情報処理研究集会
開催日 : 平成24年9月13日(木)～14日(金)
会場 : 香川大学
参加者 : 118名

2. 神戸大学からの参加者

宋 剛秀 (情報基盤センター助教)

3. 研究集会参加報告

(Pick up)

1. 開催概要

- 本研究会には計62の大学の情報基盤を担う部署から118人が参加。
- 各発表では各大学における情報基盤部署の取組が紹介される。
- 初日は11件の発表があり、二日目はパラレルセッションも併せて23件の発表。

2. 香川大学の取組

- 香川大学は、ベンダー、生協、基盤センターが協同してコピー機の課金を学生証/教職員証に付いているICカードで行うようにするシステム導入事例について紹介。
- 本システム導入以前では大学に、設置された複合機を担当者が回ってExcelで集計しており、作業時間が一月あたり20時間程になっていたが、導入後は解消。
- 2009年7月の運用開始以来システム面での運用も順調。
- しかし、ICカードを発行している生協の利益についてはまだ赤字であり、このような取組の技術的課題以外の難しさについても説明。

(全体を通じての感想)

- 会議には多くの方が参加しており、活気がありました。
- 各大学における情報基盤部署の取組の説明では、技術的な課題のほかにも他部署との連携における課題や開発システムをどのように周知し、使ってもらおうかといった取組が紹介されており興味深かった。
- 最近の時流にのったスマートフォン・SNSの管理についての発表や大学のアカウント管理に関する発表も期待したが、それらに関する発表はなかった。

以上